

巨摩スタイル! 再始動!!



長期に及んだ休校措置を経て、巨摩高校の令和2年度がいよいよ動き出しました。先行き不透明な状況は今も続いているが、新入生200名を迎え入れた巨摩高校はさらなる高みを目指して前進します。



特集 Special edition

- 新年度がスタートしました! フレッシュインタビュー
- 困難に負けない! 『われら巨摩のはらから』 県高校総体代替大会および文化局発表会より
- オンライン授業、同窓会奨学金、高大連携講座ほか



令和元年度 | 進 | 路 | 実 | 績 |

国公立大学合格者 **28**名
 私立大学合格者 **170**名

東京工業大学、千葉大学、静岡大学、山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学等に合格

令和元年度 合格者数 (単位:人)	令和元年度 主な合格大学 (現役生のみ)	私立大学 (一部抜粋)
国公立大学 28	国公立大学 (一部抜粋)	早稲田大学 ● 慶應義塾大学
私立大学 170	東京工業大学 ● 千葉大学	明治大学 ● 明治大学
公立・私立短大 28	静岡大学 ● 山梨大学	法政大学 ● 芝浦工業大学
専門学校等 70	山梨県立大学 ● 都留文科大学	日本大学 ● 東洋大学
就職 3	諏訪東京理科大学	駒澤大学 ● 専修大学
		成蹊大学 ● 神奈川大学
		山梨英和大学 ● 山梨学院大学

令和元年度の進路状況を振り返って
 昨年度入試の特徴は県内指向の継続にあります。県内の大学・短大・専門学校で学べる学問は県外の学校をめざすことで、金銭的な面から考えると当然県内の方が住居費や食費などの生活費の部分を節約することができます。また、お金のことを別にしても、今までの生活の延長がよいという考えで新しい環境に挑戦したいという学生も少なくありません。県内の学校だと学部が似たような思考の仕方になりがちです。昨年の生徒では看護学科に進みたい生徒が医学科や薬学科もあり、チーム医療の現場を体験できる方がよく考え、県外の学校を選んだという方もいます。総合的に判断して自分の進路を決めていくべきです。

お金の事といえば最近では様々な奨学金や給付金の方が安くなりました。それらを考慮すると別々です。自分から調べたいという情報は手に入りませんが、積極的に自分の進路について考えてください。なお入学を早く決めると入学金が安くなったりする学校があります。それが教育機関としてその姿勢はどうかと思えます。教育の平等はどうかという話です。入試の成績によって進路は分かっていますが、6月に決めた受験生と10月に決めた受験生の入学金が違ってくるのはおかしくないです。高校入試において、前期で合格した受験生と後期で合格した受験生で授業料が異なるとは違和感を覚えません。目先の安さに騙されたいです。

さて、昨年度でセンター試験は最後となり、今年度からは共通テストになります。新型コロナウイルスの影響もあり様々な変更があり、3年生は本当に大変だと思えます。しかし、傾向が大きく変わっても高校時代に身につけた学力を問う試験であることに変わりはありません。基礎になる部分をしっかりと学び、この「知識・技能」に加えて「思考力・判断力・表現力」といった部分が増えるのです。まずは基礎を固め、なぜそうなるかといったことを考えていく習慣を身につけていくべきです。それが高い志を持つて主体的に挑む人間を作っていくのだと信じています。

現在、全世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症により、社会生活全体が大きな影響を受け、学校生活にも戸惑いと心配があります。この現状に的確に対処するためには、私たち一人一人が真剣に捉え、自らの安全を守ることはもちろん、社会の一員としての責任を自覚し、高い意識をもって考え、行動することが求められています。巨摩高校も感染予防対策をしっかりと行い、教育活動を進めています。

本校は、大正11年に「県立第三高等女学校」として開校し、その後「県立巨摩高等女学校」「県立巨摩高等学校」と校名を変えつつ、陝西南地域の中学校として98年の歴史を築きあげてきた伝統校です。これからの、この伝統を引き継ぎ、地域を大切にしている生徒、地域に貢献できる生徒の育成を目指しています。

本校の校訓は「進修実践」です。これは、「進んで学問と徳の高い行いを修めて、自分たちから行動し、実践しなさい」という意味です。「この校訓のもと、本校では生徒、教職員とも「主体的・対話的に深い学び」をめざす姿勢を「巨摩スタイル」と定め、「何事にも明るく楽しく前向きに」をモットーとして取り組んでいます。授業、部活動、学校行事、ボランティア等で、「明るく楽しくやろう、そうすれば何かがわかるはず!何かを感じるはず!何かが身につくはず!」というプラス思考を意識して、日々の学校生活を送っています。そのために、ICT教育を積極的に取り入れ、より「主体的に対話的に深い学び」ができる授業を構築しています。

私たちは、主体的に楽しく学び合い、対話

的・協働的な活動を通して、課題発見力・解決力や探求力、コミュニケーション力を身につけることを目指しています。その際、集団の中で社会の中で、仲間作りに必要なコミュニケーションを確立するために、お互いが周囲の人と「語り合うこと」、次に相手の言葉を傾聴し自分の頭で考え合うこと、「そして、いろいろな考えを受け入れ、心で感じ合うこと」を意識して仲間との信頼関係を構築することが肝心です。本当の意味での学びは、決して一人では身につけることはできないのです。

そして、物事に対峙するときには、いつまでも頭の中で考えているより、ある程度考えを廻らせた後、あとは思いっきりチャレンジしてみることが大切です。いつもと同じ事をしているとしたらリスクが少なく安心かもしれませんが、でも、それでは進歩しません。常に勇気を持って新しいことにチャレンジしていくことが大切です。チャレンジをするということは、新しいことに挑戦することです。当然、失敗する可能性もあります。しかし、失敗こそが私たちが成長させてくれるのだと思えます。つまり、「失敗は成功の母である言葉の通り」です。パナソニックの創業者である松下幸之助氏は「失敗しない人は成功しない。なぜならチャレンジしないからである。」と言っています。また、本多技研工業の創業者である本田宗一郎氏も「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる。」と言っています。

巨摩高校の子どもたちには、高い志を持ち、慎重にそれによって果敢にチャレンジし続けてほしいと願っています。

No.029
 | 巨 | 摩 | 高 | 百 | 景 |

風のこころ

これは、巨摩高生なら毎日見かける「風のこころ」だ。しかしこの写真はいつもとは違う面角のため、平素見なれたこの像も随分と違う印象に映る。「いつもと同じ」ものでも、別の角度から眺めてみれば、ふだん気づかなかつた姿が見えてくるということを感じた。

(撮影...写真部3年 武川集斗)

いんぷおめーしょん

同窓会奨学金交付式

7月15日(水)進修館ホールにて、今年度の同窓会奨学生に選ばれた各学年2名、計6名の生徒に、武井同窓会長から奨学金が交付されました。この奨学金は本校独自のものです。創立80周年の記念事業の一環として設立されました。同窓会の支援を受けて平成15年度から運用されています。今年度の6名の生徒も、奨学生に選ばれた誇りに胸に、自己研鑽に励んでくれることを期待しています。

高大連携講座

7月18日(土)の午前中に、理数創造コース1年生の生徒を対象とした高大連携講座の第1回が実施されました。山梨大学工学部応用化学科教授の米山直樹先生を講師にお迎えして、「分子を見る～長さ計測の科学～」と題した講座を行っていただきました。受講者は皆、熱心に先生の説明に聞き入っていて、理数研究の最前線の状況を体感していたようです。今年度は本日の講座を含め、計4講座が予定されています。

kouchou sensei kara
 Hi・To・Ko・To
 ひ と こ と

チャレンジ してほしい

校長 横森 伸司



巨摩高だより
KOMA Style VOL.61

- 発行...山梨県立巨摩高等学校 〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2 TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
- 発行日...令和2年8月24日
- 編集...山梨県立巨摩高等学校 総務・広報部
- 撮影協力...山梨県立巨摩高等学校 写真部

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校 検索 URL...http://www.ko.kai.ed.jp/ E-mail...info@ko.kai.ed.jp